

名家連ニュース

平成 29 年 12 月 8 日 (金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 497 号

12月3日『障害者週間』記念のつどい～盛大に開催



午前の部は、映画「真白の恋」。午後の部は、シンポジウムと音楽が催されました。シンポジウム「相模原障害者殺傷事件が私たちに問いかけるもの」に登場したゲストの先生方の発言概要を紹介します。

【池原毅和弁護士】人類の歴史で障害者がいない時代も国も地域もなかったという事実を照らせば、障害者を地域社会から分離し、特別な施設に収容することは「障害者権利条約が求める世界」に反していること。権利条約 17 条「全ての障害者は、他の者との平等を基礎として、その心身がそのままの状態尊重される権利を有する」を紹介し、措置入院退院後の警察などの監視体制を打ち出した精神保健福祉法改正案は、過去から繰り返してきた「精神障害者は殺人などの重大な犯罪を犯しかねない危険な人々」という偏見を増強するものであると断罪し、権利条約を活かすための踏ん張りどころであることを指摘しました。

【福島智東京大学教授】「戦後最悪の障害者事件」に衝撃を受けた心情を披歴。ナチスドイツは、命に「良い命」「悪い命」という優劣を持ちこんだこと。植松被告がネット上でヒーロー扱いされていること。ご自身の体験から、憲法 25 条の生存権は、衣食住以外は想定されていないように思う。盲ろう者にコミュニケーションや外出、分かり易い情報提供がなごりにされていること。散歩に行きたい、他の人と話したい、それがなければ「囚われの身」と同じであること。赤ちゃんから年寄り、障害者に至るまで、人の人生のあり方にお金を付ける社会にしてほしいと切実に訴えました。

【福島智東京大学教授】「戦後最悪の障害者事件」に衝撃を受けた心情を披歴。ナチスドイツは、命に「良い命」「悪い命」という優劣を持ちこんだこと。植松被告がネット上でヒーロー扱いされていること。ご自身の体験から、憲法 25 条の生存権は、衣食住以外は想定されていないように思う。盲ろう者にコミュニケーションや外出、分かり易い情報提供がなごりにされていること。散歩に行きたい、他の人と話したい、それがなければ「囚われの身」と同じであること。赤ちゃんから年寄り、障害者に至るまで、人の人生のあり方にお金を付ける社会にしてほしいと切実に訴えました。

コーディネーターの田中弁護士（名古屋市視覚障害者協会会長）が権利条約 19 条を朗読し、未来に向かってみんなで考えていこうと参加者に呼びかけ締め括りました。（文責：事務局）

◇ 精神障害者を対象とした名古屋市嘱託員採用選考案内 ◇

区分	採用予定人員	主な職務内容等
健康福祉局	3 名	コピー取り、簡単なパソコン入力、軽易な事務補助等 (介護保険課、障害者支援課、保険年金課)
教育委員会事務局	6 名	コピー取り、簡単なパソコン入力、軽易な事務補助等 (教育委員会事務局)

- ◆申込期間 平成 29 年 12 月 1 日 (金) ～12 月 22 日 (金) (消印有効)
- ◆第 1 次試験日 平成 30 年 1 月 25 日 (木)
- ◆受験資格 名古屋市内に住所があり、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
- ◆問合せ先 区役所、支所、市民情報センター、障害者支援課等 ※名古屋市公式ウェブサイトに掲載

あいちアール・ブリュット×アティックアート連携作品展(入場無料)

- ▷日時 平成 29 年 12 月 6 日 (水) ～12 月 17 日 (日) 午前 10 時～午後 5 時
- ▷会場 岡崎信用金庫名古屋支店 1 階・7 階 (地下鉄「伏見」6 番出口 徒歩 5 分)

